

南ユタ大学プログラムに参加して

大学院 教科教育専攻 英語教育専修 1年 平川 晴菜

今回のプログラムに参加した感想を表すと、アメリカ最高！という一言に尽きます。帰国してからもうすぐ1ヶ月たつというのにまだ興奮は冷めません。むしろ今すぐにでもアメリカに戻りたい気分です。

私が今回このプログラムに参加したのは、大学時代からずっと抱いていた、アメリカの文化を実際に自分の肌で体験したいという強い思いがあったからです。日本に勉強に来ている留学生とは今まで交流をしてきましたが、何か物足りなく、やはりその国の文化はその国に行かないとわからないと強く感じていました。比較的参加費が安く、留学先の大学が教育学に定評のある南ユタ大学であるということが決め手となり、満を持してやっとの初留学への挑戦でした。

さて、実際の目で見るアメリカはというと、私にとっては何もかも新鮮でした！私が一番感銘を受けたのは彼らの「精神」でした。自由の国とうたわれる国アメリカ、とにかく人々が自由にのびのびと生きていて、素敵でした。日本のような伝統的な社会的規範や人目に囚われることなく、とにかく自分らしく、一人一人が独立して生きていこうとしているように見えました。アメリカはサラダボールと呼ばれるように、様々な人種の人が肩を並べて生活しています。肌の色、宗教、出生地など、それぞれ違ったバックグラウンドを持っている人々が、お互いの文化を尊重し共存している光景は私にとってとても印象的でした。

ホームステイ先は大学から車で10分、徒歩で30分くらいの所に位置する、小高い丘の上に立つお家でした。ホストファミリーは、ホストファザーとマザー、そして4人姉妹の6人が、迎え入れてくれました。ペットのチワワ犬（ペントくん）も尻尾を振ってお出迎えしてくれました。



授業は月曜日から金曜日まで午前 10 時から午後 14 時半までで、ホストマザーが毎日送迎してくれました。私たちの担当である Kat 先生は、アメリカの文化やネイティブがよく使う表現など、毎回興味深い内容を扱った授業をして下さいました。彼女を含めほかの先生たちも、とても気さくでした。

お昼はホストファミリーが持たせてくれたサンドウィッチを食べたり、カフェテリアのbuffeteにトライしてみたり、大学の近くにあるレストランに行ったりしていました。特に学校から歩いて20分くらいのところにある香港buffeteという日本食と中華料理の食べ放題のレストランがお気に入りでした。放課後はみんなでビリヤードや卓球をやったり、大学の主催のパーティーに出かけてみたりしていました。そんな中で、声をかけてくれた、日本でモルモン宣教師として活動を行っていたウェイロン君と仲良くなりました。



ユタ州はモルモン教徒が一番多い州で、私のホストファミリーもモルモン教を信仰していましたし、滞在中にその慣習に触れる機会が多くありました。モルモン教徒は高校を卒業したころに、ミッシヨナリーという布教活動を行うため、モルモン協会から世界中に宣教師として派遣されるそうで、日本に布教活動にきた経験がある学生が何人かいました。図書館前で私たちに声をかけてくれたウェイロン君も、東京で2年間布活動で行っていたそうです。アジア人が圧倒的に少ないユタの中で、日本人に興味をもってくれたのはとてもうれしかったです。ホストファミリーは厳格なモルモン信者で、規則正しい生活を心がけていました。お酒やたばこはもちろん、カフェインを含むお茶やコーヒーの摂取を禁止していました。ユタ州はアメリカ全州の中でも比較的安全な州と言われていますが、その秩序が保たれているのはモルモン教を信仰している人が多いからなのかなと感じました。

土曜日は、大学があるシダーシティーから少し遠く離れた国立公園に日本人の仲間や引率の先生と出かけました。中でもブライスカニオンは格別でとても美しかったです。赤い土が何とも言えない雰囲気を出していました。仲間とはしゃいでいろいろなポーズで写真を撮っていました。本当にお腹の底から思い切り笑い、毎日が最高に楽しかったです。



せっかくアメリカに来たので、祝日を利用してロサンゼルスにもいってきました。ロスはやはり都会で、高層ビルが建ち並んでいました。そして決定的なシダーシティーとの違いは、アジア系、ラテン系、白人系など様々な人種の人たちが圧倒的に多いこと！まさに



カルチャーダイバーシティ！シダーシティーでアジア人が歩いているととても目立ちますが、ロサンゼルスではまったくそんなことはなく、疎外感を感じませんでした。ハリウッドやビバリーヒルズなど有名なスポットをまわるバスツアーにも参加しました。チャイニーズシアターの前で、歴代のハリウッドスターたちのハンドプリントを見たときは、感動して涙が出ました！特にマイケルジャクソンのハンドプリントを見つけたときの興奮は忘れられません！カリフォルニアはとにかく日差しが気持ちよく、様々なカルチャーが混在していて非常に面白かったです。日本食レストランもたくさんあって、吉野家や山崎パン、そしてビバリーヒルズに牛角があったのは衝撃的でした。

今回このプログラムに参加したことは私の人生にとって、非常に大きなワンステップとなりました。このプログラムに参加して、自分の将来の目標もより明確になりましたし、何より語学力が上がったこともまた励みになりました。ぜひ、一度海外に出てみたい方、自分の価値観を広めたい方にはお勧めです！私も今度は1年の留学を目指して、IELTSの勉強を頑張ろうと思います。

